

あらたまの

あらたまの 年の始めの 高槻城
平和の主への 右近の祈り

※ 私は“愛”を信じます。（「歴史秘話ヒストリア・高山右近」）

その後、お変わりございませんか？

● 私たち夫婦にとって、今年の〈お正月〉は、例年と少し違っていたんですよ。
クリスマスのお祝いの、いろいろな教会行事が終わって、12月26日（日）に、子どもたち7人・孫4人、そして私たち夫婦の13人が、全員集合して、近くのお店で、楽しい会食の時をもったのです。

この日（26日）は、長男・聖潔（きよし）の誕生日。そして、ドバイ勤務だった長女・光世の一家（中村信洋・信也〔5歳〕）が、高槻勤務になって、24日に戻ってきたのです。東京に住んでいる、次男・寛容（ひろし）・尚英（よしえ）・志歩（しほ・3歳）も加わってくれました。

これまでは、正月2日に集まって、妻が準備してくれた〈おせち料理〉を中心とした、会食の時をもっていたのですが、全員そろうことは、ムリだったのです。

というわけで、年末の、「誕生日祝い・帰国歓迎・忘年会・・・」 いろんな意味をこめた集まりになり、これが、これからのわが家の、実質・「お正月・第I弾」になりそうだなあ、と話していました。

聖潔・由佳子家の、心優（みゆう）は小学校に入学しました。一步（いっぽ）は、3歳になりました。

次女の御国（みくに）は、アルバイトで小学校の働きをしながら、次の働きのために、祈って備えているところです。

● 昨年末のおおみそかは、高槻でも、珍しく雪が降り出して、各地では、交通関係を中心に、大きな影響が出ましたよネ。（次男たちは、東京に車で帰るのに、14時間もかかってしまいましたよ。）

明日の“初日の出”はどうでしょうか。雨が降っていなければ、例年通り、高槻城跡公園の「高山右近像」の所に出かけて、祈りの時だけはもつようにしよう、とっておりました。

● 2011年、元日の朝6時半、雨戸を開けてみますと、何と、逆さ三日月と明けの明星（金星）が、らんらんと輝いていて、快晴！ すばらしい初日の出が見られそうです。

急いで用意をして、出かけていきました。

高槻で一番高い〈ポンポン山〉が、雪化粧をしていて、ステキでした。

高槻城跡公園の「高山右近像」の所で、数人の人たちといっしょに、その時を待っていましたら、7時13分頃、太陽が姿を見せ始めて、徐々に光を増して行って・・・

それはそれは、見事な“初日の出”でしたよ。

新年の 祝福祈る 右近像

● つづいて、「カトリック高槻教会」に立ち寄って、元朝の、だれもない聖堂で、[祈りと、リコーダーによる賛美の時](#)をもたせていただきました。

近くのお寺に、佐藤家（妻の旧姓）のお墓がありますので、ここでも、祈りとリコーダーによる賛美（「[いつくしみ深き](#)」）の時を、もたせていただきました。元日の準備をされていた和尚さんが、「よいお年でありますように。」と、声をかけてくださいましたよ。

● 家に帰って、元日の朝のお雑煮をいただいて、11時からもたれる、阿武山福音自由教会での「[元旦礼拝](#)」に、夫婦で出かけて行きました。

旧約聖書・「詩篇」103篇1～14節から、「わがたましいよ。主をほめたたえよ」と題して、鈴木健之牧師が、メッセージを語ってくださいました。

この一年も、主に感謝し、ほめたたえながら、神のいつくしみと恵みをしっかり心に刻み、へりくだりつつ忠実に、歩んでいきたいと思えます。

● 礼拝の帰り道、今度は久保田家のお墓に立ち寄って、やはり、祈りと賛美の時をもちました。墓地に、「[いつくしみ深き](#)」の賛美が流れていきましたよ。

● 夜は、楽しみの「ウィーンフィル・ニューイヤー・コンサート」

今年は、ウィーン国立歌劇場音楽監督の、若いウエルザーメストさんの指揮。

「美しき青きドナウ」も、これまでの指揮者とはひと味違う、これぞウィーンの響き！ というべき、見事な演奏でした。満喫しました！

● 今年は、1/2（日）が「新年礼拝」で、2日つづきの礼拝となり、愛する、主にある兄弟姉妹たちと、神の家族として、共に礼拝をささげることができ、感謝でした。

● 1/3（月）は、「お正月・第Ⅱ弾」として、東京の寛容（ひろし）たちは帰っていきまので参加出来ませんでしたが、中村家に帰っていた光世たちも加わって、10人で、「おせち会食」の時をもちました。

● 昨年も、「[高山右近研究](#)」を通して、多くの恵みをいただきました。

※ ホームページ「[高山右近研究室・久保田へようこそ!](#)」が、ますます充実してきました。

尚英（よしえ）のお父さんの太田靖雄さんが、全面的に協力してくださっているおかげですが、すばらしいものになっています。

12/1に、NHKテレビで、「[歴史秘話ヒストリア・高山右近](#)」が放送されましたが、担当のディレクターの方も、このホームページを見て、お電話いただき、ささやかな協力をさせていただきました。

このホームページを通して、多くの方々が、高山右近さんや、右近さんが愛されたイエス・キリストと出会ってくだされば、と思っています。

（「[高山右近](#)」で検索してくだされば、Google・Yahooとも、1ページ目に出てきます。）

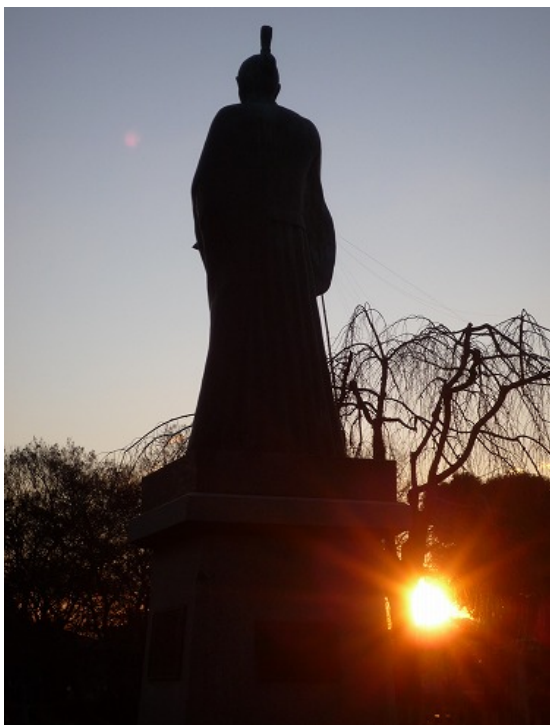
※ 4/12～15、私自身は3回目になりますが、妻がまだ行ったことのなかった、高山右近さんが召された「[マニラ](#)」に、夫婦で出かけてきました。その時の写真や“大スクープ”を、ホームページにのせていますので、よろしかったらご覧になってください。

※「右近こどもまつり」「堺巡り」「葛城山のなでしこ」「近畿キリシタン・シンポジウム」ほか。特別篇として「大塚国際美術館」「さよなら餘部鉄橋」「関西グラハムフェスティバル」なども、写真を多く使って、ホームページにのせていただいています。

● 本年も、よろしくお願ひします。

「見よ。わたし（神）は新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。」
（イザヤ書43：19）

神の祝福が豊かにありますように。 God bless you ! God bless us !



久保田 Ukon 典彦